平成29･30年度　東京都教育委員会
持続可能な社会づくりに向けた教育推進校　研究発表会

しんのある子の育成

～子供の学びを深めるカリキュラム・マネジメントと学習過程の確立～

平成31年 2月16日(土)

江東区立八名川小学校

本日の発表

- 八名川小学校のESDの捉え方
- 八名川小学校の研究内容
- 研究の成果と課題

八名川小学校のESDの捉え方

少子高齢化

技術革新

グローバル化

人工知能の
飛躍的な進化

**厳しい挑戦の
時代**

**予測が
困難な時代**

ESDで育みたい力

○持続可能な開発に関する価値観
（人間の尊重、多様性の尊重、
非排他性、機会均等、
環境の尊重等）

○体系的な思考力
（問題や現象の背景の理解、
多面的かつ総合的なものの見方）

○代替案の思考力
（批判力）

○データや情報の分析能力

○コミュニケーション能力

○リーダーシップの向上

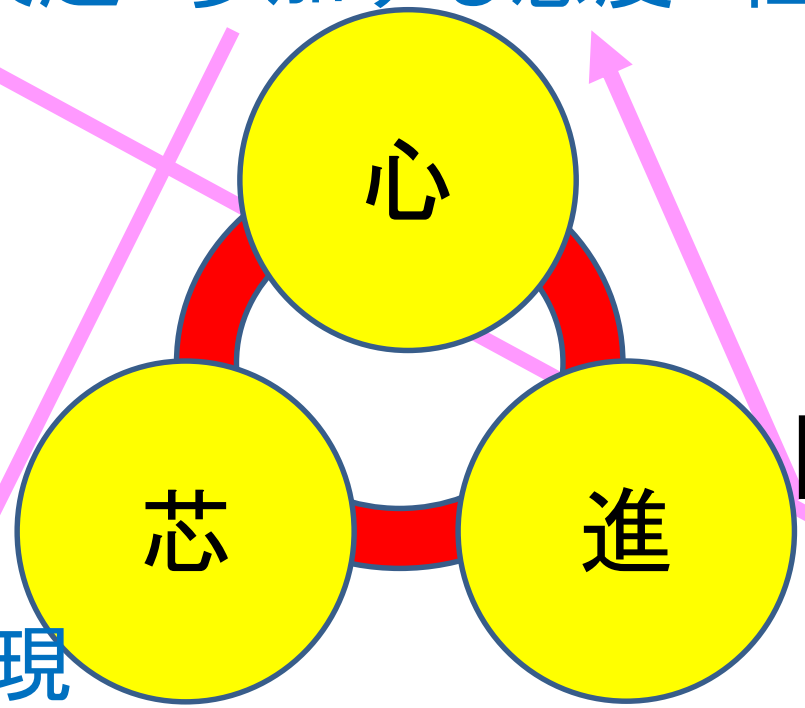
文部科学省公式ウェブサイト　日本ユネスコ国内委員会
ESDの概念図　より画像を引用
＜ http://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm ＞

八名川小学校
研究テーマ

「しんのある子の育成」

学びに向かう力

関心の喚起　参加する態度　社会参画



実践力

思考・判断・表現
具体的な行動

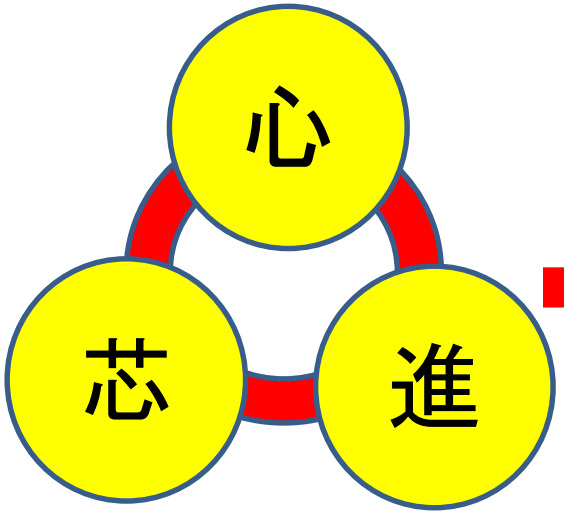
問題解決の力

理解の深化
知識・技能
問題解決力

ESDで育みたい力

課題を見いだす視点

Ⅰ 多様性
Ⅱ 相互性
Ⅲ 有限性
Ⅳ 公平性
Ⅴ 連携性
Ⅵ 責任性



見方・考え方

身に付けたい力

❶ 批判的に考える力
❷ 未来像を予測して計画を立てる力
❸ 多面的，総合的に考える力
❹ コミュニケーションを行う力
❺ 他者と協力する態度
❻ つながりを尊重する態度
❼ 進んで参加する態度

生活科・総合的な学習の時間で育みたい力

生活科

・身近な環境や自分についての気付き

・活動や体験についての思考・表現

・関心・意欲・態度

総合的な学習の時間

・課題解決に必要な知識・技能
➡探究学習の良さの理解

・実社会、実生活での問題解決における思考・判断・表現等

・主体的・協働的な学び
社会参画

進

芯

心

見方・考え方

見方・考え方

考えてほしい四つのテーマ

環境の教育

環境の問題は自分たちだけが取り組んでもだめです。国際的な協力が必要です。

国際的な協力

国際的な協力のためには、お互いの国の文化や生き方を尊重できなくては、協力なんてできません。

ユネスコスクール

人権・命の教育

国境や世代を超えた人権意識をもって、これらの課題解決に取り組みます。

多文化の理解

いろいろな国の文化や生き方を知る土台として一人一人を大切にすることが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGsの17の目標とESDの関係図

学習指導要領改訂「持続可能な社会の創り手」

ユネスコスクール公式ウェブサイト　日本ユネスコ国内委員会作成
「ユネスコスクールと持続可能な開発のための教育（ESD）今日よりいいアースへの学び」より　画像を引用
＜ http://www.unesco-school.mext.go.jp/TEMP/?action=common_download_main&upload_id=18620 ＞

SDGs実践計画表2018

SDGsを具体化する
八名川小学校のESD

環　境

目標　2
飢餓をゼロにする

3年　食べ物から見える世界、
5年　これからの食料生産とわたしたち

目標　6
安全な上下水の保障

4年　水を守れアースレンジャー

目標　7
エネルギーをみんなにクリーンに

2年　うごくうごく、わたしのおもちゃ
5年　カーボンマイナス子どもアクション

目標　9
産業と技術革新の基盤づくり

5年　エコプロダクツ展参加
5年　環境の視点で工業を見直そう

目標　11
安全で災害に強いまちづくり

3年　地域安全マップをつくろう
5年　防災、いま始めよう

目標　12
持続可能な生産と消費

4年　ごみと私たちのくらし
5年　米を活かすくらし

目標　13
気候変動対策

5年　カーボンマイナス子どもアクション
　　防災、いま始めよう

目標　15
陸の豊かさ

1年　いきものとなかよし
　　はる、なつ、あき、ふゆ
　　ぼくのわたしの　きや　はな
2年　虫が大好き
　　ーアンリ・ファーブルー
　　おいしく育て、わたしの野菜
全学年　俳句づくり

目標　14
海の豊かさ

5年　日本の水産業、岩井臨海学園

人　権

目標　1
貧困をなくす

3年　食べ物から見える世界
5年　これからの食料生産とわたしたち

目標　3
健康と福祉

4年　やさしさパワーアップ大作戦
　　（車いすバスケット、介護体験等）、
　　大きくなってきた私（2分の1・成人式）

目標　4
質の高い教育を全ての人に

1年　がっこう　だいすき
6年　世界の未来と日本の役割

目標　5
ジェンダー平等の実現

2年　あしたへジャンプ
4年　心の信号機、手と心で読む

目標　8
経済成長と人間らしい仕事

6年　未来へ羽ばたけ（キャリア教育の視点から）

目標　16
平和で公正な社会と行政

6年　私たちの願いを実現する政治、
　　世界を知り私たちにできることを発信しよう。

多文化理解（国際理解）

目標　10
人や国家間の平等

2年　どきどき　わくわく　まちたんけん
　　町のひみつを知らせたい
4年　さがそう深川未来遺産
6年　江戸・深川の町を語ろう

目標　17
世界の協力とパートナーシップ

2年　あしたへジャンプ
4年　留学生との楽しい時間
6年　世界を知り、できることを発信しよう。

17の目標をESDカレンダーを中心とした「環境、人権、多文化理解」の3視点で分類し、実践学年や単元名を記入しています。SDGs・17のゴールと169のターゲット、5要素の関わりを意識して授業をつくっていきます。

人間 People
地球 Planet
平和 Peace
豊かさ Prosperity
パートナーシップ partnership

地球規模の問題に対する国連システムの理解

八名川小学校の研究内容

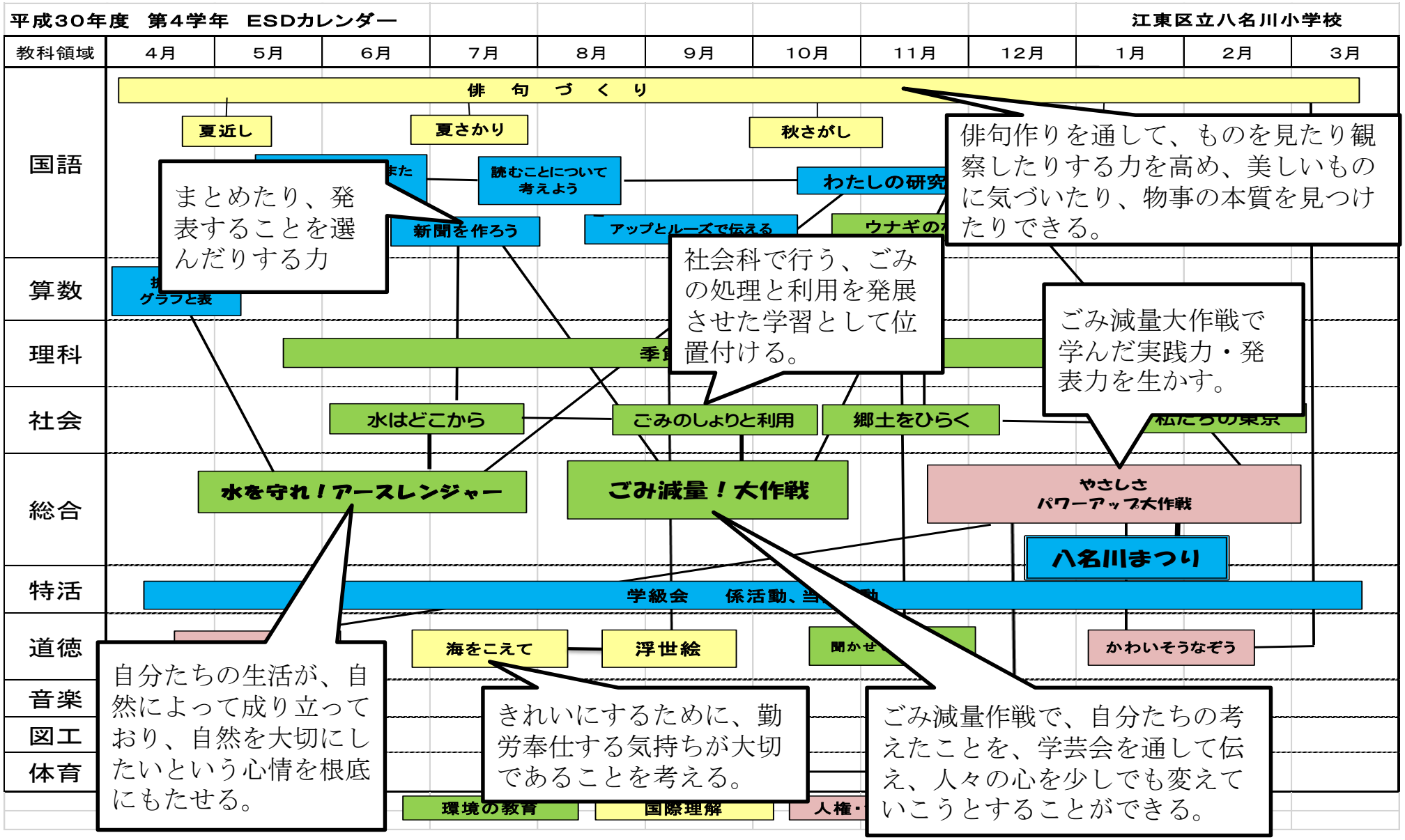
八名川小学校の三つの提案

提案１　児童の学びを深めるESDカレンダー

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

提案３　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

提案1　児童の学びを深めるESDカレンダー



提案１　児童の学びを深めるESDカレンダー

江東区立八名川小学校

生活科　第２学年　指導計画

４月　５月

単元名「春だ　今日から　２年生」（７時間）

【ねらい】
学校や公園にある自然から春を見つけ、自然に親しむことができる。

＜ステップ１＞
☆春になって身の回りの自然の変わってきたことについて話し合い、自然への興味・関心を高める。
○学校や公園を歩き、身の回りにどんな春が来ているか調べる。
◎学校や公園で、印象に残った春を選び、カードにまとめる。
●学校や公園で見つけた春を友だちに紹介する。
＜ステップ２＞
□1 年生に、学校や地域にある春を知らせ、春の自然（あさがおの種など）をプレゼントするとともに、学校の楽しさを伝える手紙を書き、学校内を案内する。

【地域人材・関係機関】
・１年生

６月

単元名「生きもの　なかよし　大作せん」(9時間)

【ねらい】生き物の飼育を通して、生き物が、生命をもって成長していることに気付き、親しみをもって大切に育てることができる。

＜ステップ１＞
☆身の回りの生き物について話し合い、生き物を探しに行く。
○生き物に適した環境やえさなどの飼育法を調べ、生き物を育てる。
◎生き物との関わりを通して気付いたこと、感じたこと、考えたことなどをまとめる。
●生き物を育てた体験について発表し合う。
＜ステップ２＞
□生き物についてまとめた作品や実際の生き物を展示した生き物広場をつくり、保護者を生き物広場に招待する。

【地域人材・関係機関】
・生き物の飼育に詳しい専門家や教員
・図書館（団体貸し出し）

７月

単元名「どきどき わくわく まちたんけん」(8時間)

【ねらい】自分たちのまちを探検する活動を通して、まちの良さを知り、愛着をもつことができる。

＜ステップ１＞
☆自分たちのまちの秘密について教えあい、行ってみたい場所について話し合う。
○まち探検に行く際のルールやマナーを考え、まち探検に行く計画を立てて、まち探検に行く。
◎まち探検で見つけたことや気付いたことをカードや絵地図にまとめる。
●まち探検の中で見つけたまちの良さを発表しあう。
＜ステップ２＞
□まち探検の活動の中でお世話になった地域の方、保護者の方にまちの良さを伝える。

【地域人材・関係機関】
・地域の商店街や社会施設
・保護者

８月９月　１０月

単元名「みんなでつかう　まちのしせつ」(6時間)

【ねらい】公共施設へ行き、そこにあるものをみんなで大切に使うことや、そこで働いている人のことが分かり、正しく利用することができる。

＜ステップ１＞
☆地域の公共施設について話し合い、図書館で働いている方へインタビューを行う計画を立てる。
○図書館へ行き、図書館で働いている人の思いや施設の使い方、そこで働く人についてなどを調べる。
◎インタビューしたことや気付いたことをカードにまとめる。
●図書館の紹介ポスターを作り、図書館の魅力を発表しあう。
＜ステップ２＞
□他にもどのような公共施設があるのか調べ、まとめたことを発表し合う。

【地域人材・関係機関】
・地域の商店街や社会施設

野菜を育てよう　（１１時間）

【記号の見方】☆…学びに火を付ける過程　○…調べる過程　◎…まとめる過程　●…伝え合う過程　□…ステップ２以降の過程

「どのように学ばせるのか」

問題意識の共有

主体的な学び
様々な変化に積極的に向き合う

対話的な学び
他者と協働して課題を解決していく

「子供の学びに火を付け続ける」

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

問題解決の過程

＜伝え合う＞

発表の場の設定

多様な人へ（八名川まつり等）
・異学年　・地域、保護者
・専門家、施設　・他校の同学年

双方向で（質問や意見をする）
・自分の発表に対して…
・友達の発表に対して…

行動する場の設定

・振り返り、考えたことを文章にする
・実際に行動を起こす

＜まとめる＞

学習形態の工夫

個（自己内対話の充実）
グループ（異質・同質）
全体（クラス・同学年・異学年）

話合いの可視化

ポートフォリオ（個）
掲示の工夫（全体）
ホワイトボード、付箋、短冊

＜調べる＞

教師の
コーディネート力

地域を素材にした
体験活動

＜学びに火をつける＞

価値ある問題

（三つのステップを通して、必要感、
責任感、切実感のある学習問題を作る）

主体的な学び

対話的な学び

学びに火をつける ステップの工夫

問題解決の過程を
ステップごとに
進める

新たな問題

新たな気付きや疑問

学びに火をつける 導入の工夫

問題意識
をもつ

気付く

出会う

対話 12の要件

他の意見の尊重
雰囲気づくり等　２項目

場の設定や
手立て等　６項目

個やグループの
時間の確保等　１項目

思考力・対話力
等の育成　３項目

対話トレーニング

学年・学級経営

雰囲気づくり
教師の声掛け
話合いの決まりの共有等

提案３　見方･考え方を働かせ、価値観を培う学習

問題解決の過程

＜伝え合う＞

発表の場の設定

多様な人へ（八名川まつり等）
・異学年、地域、保護者、専門家、施設、他校の同学年
双方向で（質問や意見をする）
・自分の発表に対して、友達の発表に対して

行動する場の設定

・振り返り、考えたことを文章にする
・実際に行動を起こす

＜まとめる＞

学習形態の工夫

個（自己内対話の充実）
グループ（異質・同質）
全体（クラス・同学年・異学年）

話し合いの可視化

ポートフォリオ（個）
掲示の工夫（全体）
ホワイトボード、付箋、短冊

＜調べる＞

教師のコーディネート力

地域を素材にした体験活動

＜学びに火をつける＞

価値ある問題

（三つのステップを通して、必要感、責任感、切実感のある学習問題を作る）

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

学びに火をつける導入の工夫

出会う

①体験活動や提示
　資料をもとに基本的な事実と出会う
②体験したり資料を見たりしたことから、
　多様な気付きや感想などをもつ

気付く

①友達と感想を交流する
②教師が提示したり、子供が調べたりして、
　出会った矛盾する事実や意表をつく話や資料
　等から疑問を感じる

問題意識をもつ

①グループや学級全体で疑問を出し合い、
　分類・整理してまとめ、学習問題をつくる
②問題について、自分なりの予想をする

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

２年生　生活科　どきどき　わくわく　まちたんけん

ステップ　①　→　ステップ②　→　ステップ③

普段利用している商店や、通学路途中にある施設など、お気に入りの場所を紹介し合うとともに、もっと学区域についてしりたいという意欲をもたせた。

一度、まち探検を終えた後、まだ知らないことやもっと知りたいことがあることに気付き、さらに探検に出ようとする意欲をもたせた。

学年当初から使用しているワークシートを使用し、それを基にした絵地図を作成、発表資料とした。

保護者対象の発表会を開催し、目的意識を高めるとともに、意欲を引き出す質問を投げかけた。

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

対話　12の要件

①意見を言いやすい雰囲気づくり
②多様な人と対話できる場づくり
③多様な意見の尊重と活用
④自分と対話する沈黙の時間の確保
⑤正答のない学びの設定
⑥自ら対話したくなる
　意欲の向上を図る手だて
⑦適切な規準や根拠に基づいて
　判断する場づくり
⑧表情や身振りなどの
　表現力の育成と活用
⑨他者に共感する心情の育成と活用
⑩思考力・対話力を身に付ける
　基本的な技能の習得
⑪思考が深まり続ける手だて
⑫学びを振り返る場の設定

対話トレーニング

学年・学級経営

・話しやすい雰囲気づくり
・教師の声かけ
・話合いのきまりの共有
等

提案3　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

深い学びのための資質・能力（例）

①見方・考え方を働かせる。
②知識を相互に関連付け、より深く理解する。
③情報を精査して考えを形成する。
④問題を見いだして解決策を考える。
⑤思いや考えを基に構想して意味や価値を創造する。

提案3　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

①校内掲示

ESDやSDGsの内容や写真や図を掲示し、常に児童の目に触れさせることによって価値観を育てる。

②特別の教科　道徳

授業においてESDやSDGsの内容を取り上げる。SDGsに関しては、そのロゴを資料などにも明記する。

③朝会講話

朝会講話の中にESDやSDGsに関係する内容を取り上げる。

④図書環境整備

ESDやSDGsに関する図書資料や、その授業に活用できる図書資料をそろえていく。児童がSDGsのロゴを図書資料に貼る活動をする。

図画工作科専科教諭が描いたSDGs

児童の作品とSDGsを併記

提案3　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

②特別の教科　道徳

授業においてESDやSDGsの内容を取り上げる。SDGsに関しては、そのロゴを資料などにも明記する。

道徳授業地区公開講座

（6年1組　担任　小野瀬　悠里）

テーマ	資料名
理由があれば いじめてもいい？	※弁護士による いじめ予防授業

今日のねらい

いじめの当事者は加害者、被害者だけではなく、周囲も当事者であることを示し、周囲の者に何ができるかを考える。

授業の流れ

○いじめについての意識の確認をする。

○なぜ、「絶対に」いじめはゆるされないのか。人権の話をつうじ、いじめが幸せに生きる権利を踏みにじる行為であることを理解する。

○ドラえもんを例に取り、いじめの４層構造について考える。

○いじめが絶対にゆるされないこと、傍観者が大きな役割があることを考え、話し合う。

○話し合ったことをもとに、これからの自分の行動について考える。

授業のみどころ！

「悪いことをしたひとはいじめてもいい？」という問題についてみんな考えます。

具体的には、いじめ自殺等の事例を通じて、いじめには強い負の力があり、絶対に許されないことを深く理解していきます。

また、いじめが周囲で起こったとき自分になにができるかを考えていくところがポイントです。

弁護士によるいじめ防止授業

提案3　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

③朝会講話

朝会講話の中にESDやSDGsに関係する内容を取り上げる。

④図書環境整備

　ESDやSDGsに関する図書資料や、その授業に活用できる図書資料をそろえていく。

　SDGsのロゴを図書資料に貼る。これを児童の活動にする。

研究の成果と課題

研究の成果

- 調査研究

(1)　調査時期

平成30年 5月、平成30年11月

(2)　調査方法　　質問紙法　４件法

（はい、どちらかといえば　はい、どちらかといえば　いいえ、いいえ）

(3)　調査対象　本校児童　３６８名

(4)　調査結果の分析方法

単純計算し、肯定率を比較し、傾向を考察する。

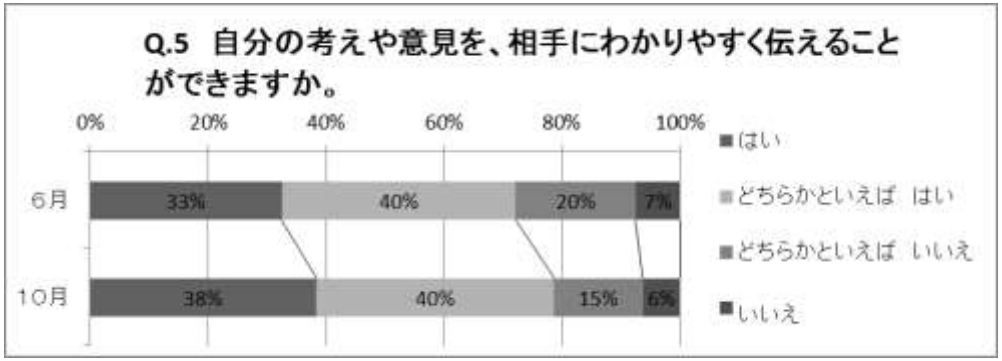
研究の成果

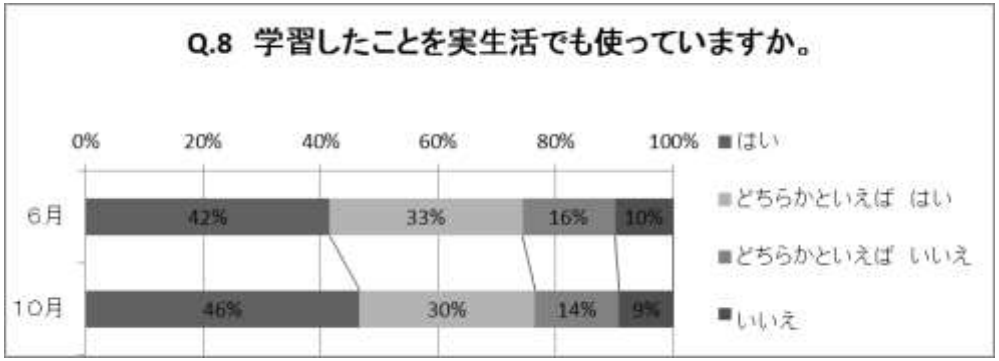
番号	観点	中・高学年向け質問項目
1	心	総合的な学習の時間は好きですか。
2	進	学習の中で調べたり，考えたりしたいことを見つけることができますか。
3	進	知りたいことを調べるときに，どのようにしたらよいか考えることができますか。
4	進	調べて分かったことをまとめたり，自分の考えをもったりすることができますか。
5	進	自分の考えや意見を，相手に分かりやすく伝えることができますか。
6	進	他の教科で学習したことを，総合の学習でも使うことができましたか。
7	芯	学習していて，もっと調べてみたいと思うことがありますか。
8	芯	学習したことを実生活でも使っていますか。
9	芯	自分で何ができるか考えることがありますか。
10	芯	学習をしていて新たな発見や気づきがありますか。
11	心	いろいろな考えが出たときに，みんなでより良い考えにしていこうと思いますか。
12	心	友だちの考えを聞いて，自分の考えに取り入れたり， 考えが変わったりすることがありますか。
13	ESD	持続可能な社会について考えることができますか。

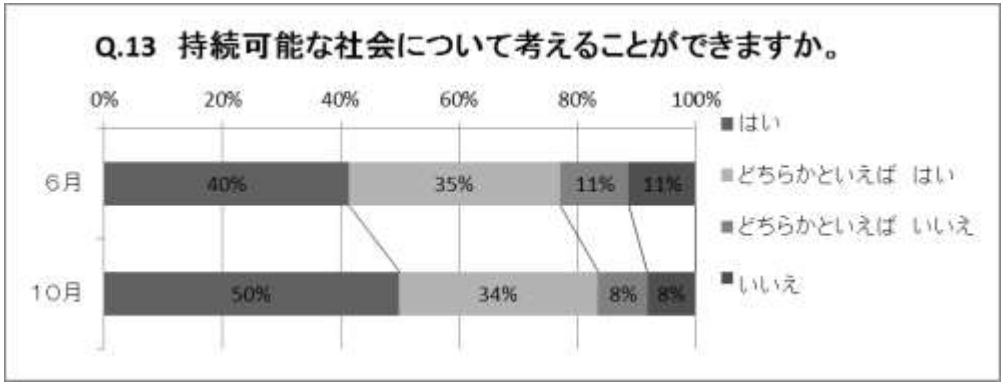
研究の成果

番号	観点	低学年向け質問項目
1	心	せいかつかのじかんは　すきですか。
2	進	べんきょうをして，みのまわりのことから， もっとしらべてみたいことを　みつけることができますか。
3	進	ひとにきいたり，ほんでしらべたりして，しりたいことをしらべることができますか。
4	進	しらべてわかったことについてかんそうをいったり，かいたりすることができますか。
5	進	じぶんのかんがえをあいてのひとにしっかりとつたえることができますか
6	進	がくしゅうしたことを，つぎのがくしゅうでつかうことができますか。
7	芯	もっとまなびたいとおもいますか。
8	芯	べんきょうしたことを，いえやふだんのせいかつでつかっていますか。
9	芯	じぶんでなにができるか，かんがえることがありますか。
10	芯	がくしゅうをしていてあらたなはっけんやきづきがありますか。
11	心	かんがえのちがうひととも，ちからをあわせようとおもいますか
12	心	ともだちのかんがえをきいて，じぶんのかんがえとくらべることがありますか。
13	ESD	よりよいかぞくやまちについてかんがえることができますか。

研究の成果


Q.5 自分の考えや意見を、相手にわかりやすく伝えることができますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
6月
33%
40%
20%
7%
10月
38%
40%
15%
6%
はい
どちらかといえば はい
どちらかといえば いいえ
いいえ


Q.8 学習したことを実生活でも使っていますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
6月
42%
33%
16%
10%
10月
46%
30%
14%
9%
はい
どちらかといえば はい
どちらかといえば いいえ
いいえ


Q.13 持続可能な社会について考えることができますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
6月
40%
35%
11%
11%
10月
50%
34%
8%
8%
はい
どちらかといえば はい
どちらかといえば いいえ
いいえ

提案１　児童の学びを深めるESDカレンダー

成果

- 限られた教科時数の中で、効果的に学習を進めることができた。
- 時間的な余裕が生まれ、対話する時間を確保することができた。

提案１　児童の学びを深めるESDカレンダー

課題

- 教科の目標に基づいて本質が繋がっているかどうかはさらなる検証が必要である。
- カリキュラム・マネジメントを行うことが難しい教科もあった。
- ESDカレンダーの使用は、ESDに対する見識を深めた上で活用されることが望ましい。

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

成果

- 新たな関心が湧出し、主体的に学習を進めていくことができた。
- 「学びに火をつける」、「学びに火をつけ直す」を主眼に、様々な工夫を行ったことで、児童の学びを促進させることができた。
- 教材・教具の工夫を進めることで、対話型授業を進めることができた。

提案２　児童の学びを深める学習過程の確立

課題

- 自己内対話、他者対話ともに、どのような対話が効果的であったのか、検証が必要である。
- 効果的に進めるためにどのような指導法が考えられるか、さらに研究していく必要がある。

提案3　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

成果

- 具体的な目標をもとにESDに対する見方・考え方を育むことができた。
- 持続可能な社会をつくるために必要な学びを児童が認識し、それに向かって進めていくことができた。

提案3　見方・考え方を働かせ、価値観を培う学習

課題

- 3つの「しん」について、パフォーマンス評価を進めていく必要がある。
- 児童の実践力を正確に測るための評価基準を作成していく必要がある。
- 地域や保護者と連携し，日常で実践力を発揮できる場を設定できることが望ましい。

平成29･30年度　東京都教育委員会
持続可能な社会づくりに向けた教育推進校　研究発表会

しんのある子の育成

～子供の学びを深めるカリキュラム・マネジメントと学習過程の確立～

平成31年 2月16日(土)

江東区立八名川小学校